

．第38回海外事業活動基本調査の概要

1．調査の概要

海外事業活動基本調査は、1971年（昭和46年）（内容は1970年度分（昭和45年度分））から毎年実施しており、3年ごとに項目を詳細に調査しており、今回は詳細調査年に当たります。

(1) 調査の目的

海外事業活動基本調査は、我が国企業の海外事業活動の実態を明らかにすることにより、各種施策の企画、立案、実施の基礎資料を得ることを目的としています。

(2) 調査の法的根拠及び秘密の保護

この調査は、統計報告調整法第4条に基づいて経済産業省が実施した承認統計です。

(3) 調査の対象

この調査は、2008年（平成20年）3月末現在で、海外に現地法人を有する我が国企業（金融・保険、不動産業を除く。以下、「本社企業」といいます。）を対象としました。

この調査における「現地法人」は、海外子会社と海外孫会社の総称です。

海外子会社とは、日本側出資比率が10%以上の外国法人をさし、海外孫会社とは、日本側出資比率が50%超の海外子会社が50%超の出資を行っている外国法人をさしています。

(4) 調査方法

この調査は、経済産業省から本社企業に調査書類（「本社企業調査票」及び「現地法人調査票」）を配付し、本社企業で把握し得る情報に基づいて記入、返送していただく、自計申告による郵送調査です。

(5) 調査時点

2008年（平成20年）3月末現在、または、それ以前で最も近い決算時点における2007年度（平成19年度）及び2007年度末（平成19年度末）の実績について、2008年7月1日に調査を実施しました。

2．回収状況

(1) 本社企業の回収状況

発 送 数	4,948 社
回 収 数	3,503 社
回 収 率	70.8 %

(2) 有効回答（操業中）企業数

本社企業	3,378 社
現地法人	16,732 社

3. 利用上の注意

(1) 現地法人に関する集計項目の円換算について

現地法人に関する集計項目の通貨単位は、原則として「百万円」としました。また、現地通貨から日本円への換算については、IMF公表の「IFS」における期中平均レートによりました。

なお、本調査の調査対象となる現地法人の所在国通貨の対日本円レートについて、前年度と比較すると、例えば、対米レートでは今回の調査では117.75円/\$で、前回(116.30円/\$)に比べて、1.2%の円安、ユーロは今回は161.16円/Euroで、前回(145.90円/Euro)に比べて10.5%の円安となっていること等に留意を要します。その他の換算レートは、巻末に掲載した調査票記入の手引別表1「国分類、地域分類表(付、国別通貨換算表)」を参照してください。

(2) 地域定義

この調査における地域区分の定義は、特に断りの無い限り以下の区分によりました。

なお、香港は中国に含めています。また、国とあるのは地域を含む場合があります。

E U : ベルギー、ドイツ、フランス、イタリア、ルクセンブルク、オランダ、デンマーク、アイルランド、イギリス、ギリシャ、スペイン、ポルトガル、フィンランド、オーストリア、スウェーデン、マルタ、キプロス、ポーランド、ハンガリー、チェコ、スロバキア、スロベニア、エストニア、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ブルガリア

NIEs3 : シンガポール、台湾、韓国

ASEAN4 : マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン

ASEAN10: マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、シンガポール、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア

BRICs : ブラジル、ロシア、インド、中国(除.香港)

(3) 本社企業の企業規模定義

この調査における本社企業の企業規模に関する定義は、以下のとおりです。

「大企業」:	資本金10億円超
「中堅企業」: 製造業、農林漁業、鉱業、建設業、その他	資本金 3億円超 10億円以下
卸売業	資本金 1億円超 10億円以下
小売業、サービス業	資本金 5千万円超10億円以下
「中小企業」: 製造業、農林漁業、鉱業、建設業、その他	資本金 3億円以下
卸売業	資本金 1億円以下
小売業、サービス業	資本金 5千万円以下

(4) 業種分類

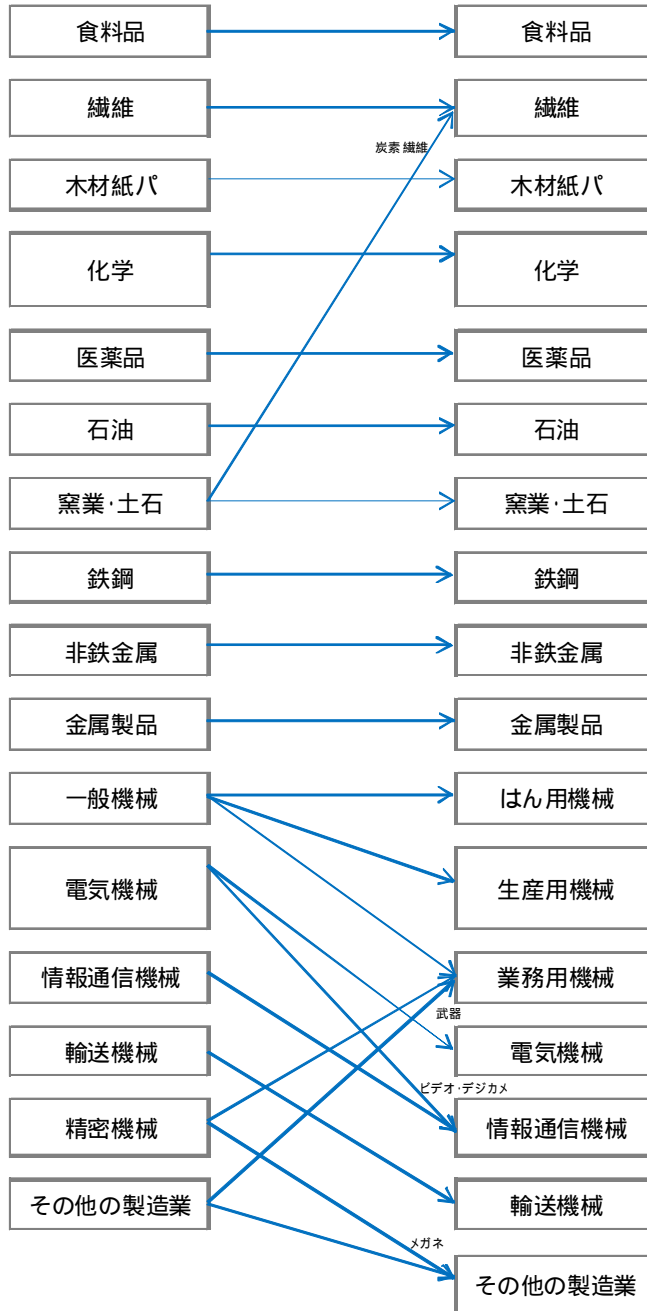
この調査の業種分類は日本標準産業分類に準拠しています。

2007年11月に日本標準産業分類が改定されたことから、2007年度は新分類で調査・集計しています。また、概況における2006年度の業種別の数値は、前回公表したものを新分類に組み換えて集計し直しています。

新旧業種区分対照表は次のとおりです。

H19年業種区分

H20年業種区分



食料品製造業 / 飲料製造業 / たばこ製造業 / 飼料・有機質肥料製造業

製糸業、紡績業、化学繊維、ねん糸製造業 / 織物業、ニット生地製造業 / 染色整理業、網・綱・レース・繊維粗製品製造業 / 衣服・その他の繊維製品製造業

木材・木製品製造業 / パルプ・紙製造業 / 紙加工品製造業

化学肥料製造業 / 無機化学工業製品製造業 / 有機化学工業製品製造業 / 油脂加工製品・石けん・合成洗剤・界面活性剤・塗料製造業 / 化粧品・歯磨、その他の化粧品用調整品製造業 / その他の化学工業

医薬品製造業

石油精製業 / その他の石油製品・石炭製品製造業

ガラス・同製品製造業 / セメント・同製品製造業 / その他の窯業・土石製品製造業

銑鉄・粗鋼・鋼材製造業 / 鋳鍛造品・その他の鉄鋼製品製造業

非鉄金属製錬・精製業 / その他の非鉄金属製品製造業

建設用・建築用金属製品製造業 / その他の金属製品製造業

一般産業用機械・装置製造業 / その他のはん用機械器具製造業

農業用機械、建設機械、鉱山機械、繊維機械製造業 / 生活関連産業用機械・基礎素材産業用機械製造業 / 金属加工機械製造業 / 半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置製造業 / その他の生産用機械器具製造業

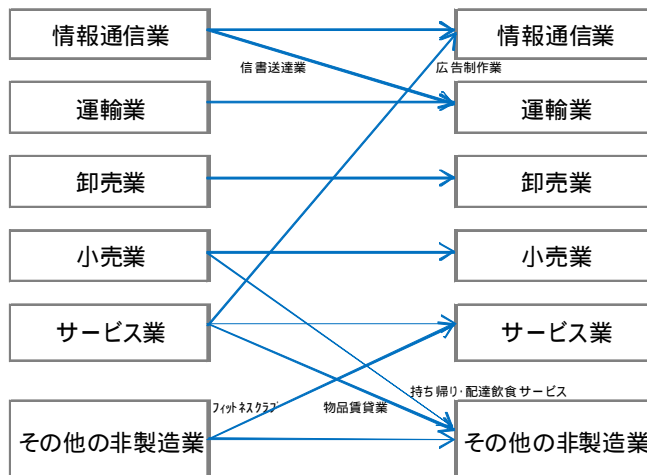
事務用・サービス用・娯楽用機械器具製造業 / 光学機械器具・レンズ製造業 / その他の業務用機械器具製造業

産業用電気機械器具製造業 / 民生用電気機械器具製造業 / 電子応用装置製造業 / その他の電気機械器具製造業

通信機械器具・同関連機械器具、映像・音響機械器具製造業 / 電子計算機・同附属装置製造業 / 電子部品・デバイス・電子回路製造業

自動車、自動車車体・附随車製造業 / 自動車部品・附属品製造業 / その他の輸送用機械器具製造業

家具・整備品製造業 / 印刷・同関連業 / プラスチック製品製造業 / ゴム製品製造業 / なめし革・同製品・毛皮製造業 / その他の製造業



通信業 / 放送業 / 情報サービス業 / インターネット附随サービス業 / 映像・音声・文字情報制作業

鉄道業、道路旅客運送業、道路貨物運送業、水運業、航空運輸業、郵便業 / 倉庫業・運輸に附帯するサービス業

卸売業

小売業

経営コンサルタント業、純粋持株会社 / 広告業 / 学術・開発研究、専門・技術サービス業(経営コンサルタント業、純粋持株会社、広告業は除く。) / 生活関連サービス業、娯楽業 / その他のサービス業

農業 / 林業 / 漁業・水産養殖業 / 鉱業、採石業、砂利採取業 / 建設業 / 電気業、ガス業、熱供給業、水道業 / 物品賃貸業 / 宿泊業 / 飲食店 / 持ち帰り・配達飲食サービス業 / 教育、学習支援 / 医療、福祉 / 複合サービス業

(5) 調査項目の定義及び業種の内容例示については、調査票及び調査票記入の手引を参照してください。

(6) 調査結果に対する留意点

集計に当たっては、有効回答のみを集計しました。このため、項目によって回答企業の数にばらつきが生じている場合があります。

この調査の集計表における企業数に関する定義は、以下のとおりです。

回収企業数：調査票回収企業数

企業数：調査項目のうち、操業状況を「1. 操業中」と回答した企業数

集計企業数：操業中で、かつ、当該項目に回答があった企業数

今回の調査結果を前回以前の調査結果と比較する場合には、それぞれの調査年度における調査対象数の違い、回収率の違いに留意する必要があります。

(4)に記載のとおり、2007年度は新分類で調査、集計しているため、統計表の時系列データのうち、2006年度と2007年度の間に断層が生じています。

(7) 記号及び注記

表中の記号は以下のとおりです。

「x」 企業数が1又は2のため、秘匿したことを示します。

なお、この秘匿によっても「x」の箇所の数値が計算によって算出されるおそれのあるものについては、企業数が3以上でも秘匿した箇所があります。

「-」 該当数字なし。

「0」 単位未満

「…」 算式の分母が負数又は分子が0のもの。

「r」 訂正值

単位未満を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

本文中の前年度比、比率については、調査単位の百万円で計算しています。

(8) 比率の算式

当該項目のすべてに回答のあった企業の集計値で計算しています(付加価値率は除く)。

(- 30表)

$$\text{売上高総利益率} = \frac{\text{総利益(売上高 - 売上原価)}}{\text{売上高}} \times 100$$

$$\text{売上高営業利益率} = \frac{\text{営業利益(売上高 - 営業費用(売上原価 + 販管費))}}{\text{売上高}} \times 100$$

$$\text{売上高経常利益率} = \frac{\text{経常利益}}{\text{売上高}} \times 100$$

$$\text{売上高当期純利益率} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}} \times 100$$

$$\text{売上高売上原価比率} = \frac{\text{売上原価}}{\text{売上高}} \times 100$$

$$\text{売上高販管費比率} = \frac{\text{販管費}}{\text{売上高}} \times 100$$

$$\text{売上高研究開発費比率} = \frac{\text{研究開発費}}{\text{売上高}} \times 100$$

$$\text{付加価値率} = \frac{\text{付加価値額（売上高 - 売上原価 - 販管費 + 給与総額 + 賃借料）}}{\text{売上高}} \times 100$$

注：給与総額、賃借料どちらか一方でも記入のあった企業で算出

(8) 問い合わせ先

この統計表についての問い合わせは、経済産業省経済産業政策局調査統計部企業統計室あてにご連絡ください。

郵便番号100-8902 東京都千代田区霞が関一丁目3番1号

電話 03-3501-1511（代表） 内線2906

03-3501-1831（直通）

企業統計室メールアドレス qqcebh@meti.go.jp

資料掲載（インターネット）

<http://www.meti.go.jp/statistics/index.html>（経済産業省HP（日本語版））

<http://www.meti.go.jp/english/statistics/index.html>（同（英語版））

(9) その他

この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「海外事業活動基本調査（経済産業省）」による旨を記載してください。